

2015年07月03日

お客様各位

株式会社MOL JAPAN

G6 アライアンス アジア／北米航路で追加寄港を決定  
－カナダ発 アジア・地中海向けサービスの向上－

株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社：東京都港区）の所属する定期コンテナ船共同運航組織「G6 アライアンス」（注）は、アジア／北米航路のサービス改編を決定しました。この改編により、ハリファックスの復航寄港を追加することで、サービスを向上させます。

弊社は、今後もサービスの品質と信頼性の向上に努め、多様化する顧客ニーズへの確に対応していきます。

改編されるサービス

【AZX】

既存の HALIFAX 往航寄港に加え復航寄港を追加することにより、カナダからアジア・地中海向けのトランジットタイムを短縮します。尚、この改編によりアジア・地中海発 ニューヨーク向けのトランジットタイムも同時に短縮されます。

ローテーション：

レムチャバン-シンガポール-コロンボ-ダミエッタ-カリアリ-ハリファックス-ニューヨーク-サバンナ-ノーフォーク-ハリファックス-カリアリ-ダミエッタ-ジェベルアリ-シンガポール-レムチャバン

\* Budapest Express 029E より開始

（レムチャバンに7月6日、復航ハリファックスに8月4日 入港予定）

（注）「G6 アライアンス」は、商船三井（日本）、日本郵船（日本）、APL（シンガポール）、Hapag-Lloyd（ドイツ）、現代商船（韓国）、OOCL（香港）の6社で構成され、2012年3月にアジア/北欧州航路、アジア/地中海航路でサービスを開始、2013年5月にはアジア/北米東岸航路に協調範囲を拡大し、2014年5月にはアジア/北米西岸航路及び大西洋航路に協調範囲を更に拡大しました。